

早春の災害対策について

冬から春へ移り変わる3～5月は、一年の中でも風が強い時期で、昨年は海沿いの稚内や枝幸で最大瞬間風速が25m/s以上の日がありました(図1)。また湿った重たい雪によるドカ雪の可能性もあります。

春一番の強風やドカ雪は、施設の倒壊や停電など、営農へ支障をきたす恐れがあります。

平常時からの備えを確認しておきましょう。

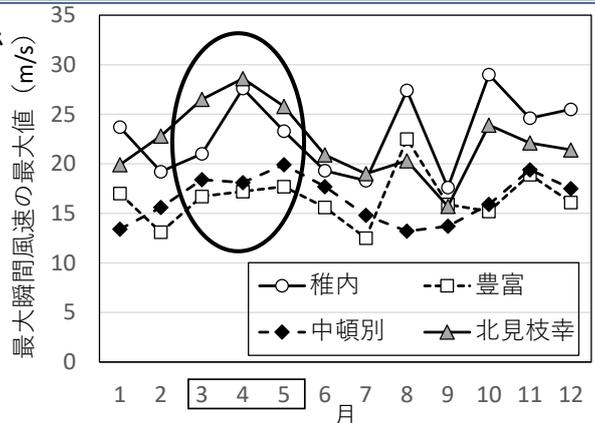


図1 管内の最大瞬間風速の最大値 (2023年、アメダスデータ)

○平常時からの備え

- ・ 畜舎や倉庫などを点検し、破損が認められれば**随時補修**しましょう。
- ・ 夜間の停電発生に備え、**非常用の照明器具** (懐中電灯など) を暗闇の中でも使用できる場所に保管しておきましょう。牛舎や処理室の整理整頓も大切です。
- ・ **自家発電機**の燃料や動作の確認を行っておきましょう。
- ・ 自家発電機を共同利用している場合は、利用計画を立てておきましょう。
- ・ 断水の発生に備え、給水車などからの受水方法や自力による水確保 (近隣農家や河川水の利用等) を想定しておきましょう。
- ・ 衛生的な牛床、換気のよい牛舎で、**健康的な乳牛飼養**につとめましょう。

○天候悪化 (大雪、暴風) の予報が出た時の対応

- ・ 前もってエサを牛舎内に入れておくなど、緊急用の飼料を手当てしましょう。
- ・ 停電が懸念される場合は、自家発電機や牛床の消毒資材を準備するとともに
 - ー 長時間搾乳できない時の影響に備え、牛床に消毒資材を散布するなど、漏乳が発生した場合の乳房炎予防対策を行いましょう。
 - ー すぐ連絡がとれるように携帯電話の充電を確認しましょう。
- ・ 風による視界不良が考えられる場合は、入口のとりつけに目印を立てるなど、できる場合は集送乳、牛の集荷時間帯に配慮をお願いします。

○火災に注意!

春先は風が強く乾燥しやすいため火が燃え広がりやすく、被害も大きくなります。

子牛用暖房ヒーターが子牛に接触しない位置で落下しないようにしっかり固定する、畜舎内の灯油ストーブの周りに燃えやすいものを置かない、漏電しそうな箇所がないか確認するなど、火災予防を行いましょう。

ホームページも
ご参照ください



災害対策情報はこちら